令和8年度 年間テーマ

農業と地域を守る循環づくり

掛川市議会
環境産業委員会

委員：高橋篤仁、鷲山記世、山本行男
鈴木久裕、嶺岡慎悟、小田つとむ、杉山康弘

東御市役所中庭
クルミの木の前で
クルミポーズ



目次

01 テーマ設定理由

02 国・掛川市の現状

03 現状から見えた課題

04 現行の支援制度

05 意見交換会・先進地事例

06 提言に向けて

01　テーマ設定理由

現状・背景

・農業従事者の高齢化、担い手不足が深刻化

・市は国・県の制度を活用しつつも農業従事者は減少が続く

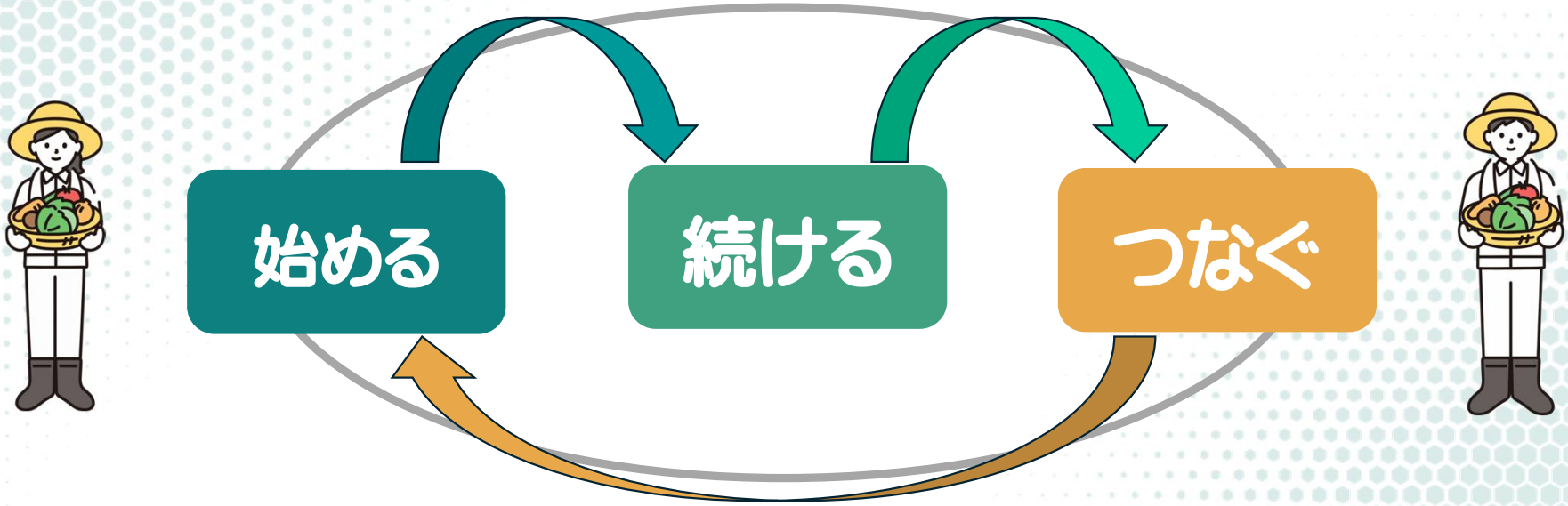
・休耕地・耕作放棄地の増加による地域農業の荒廃

課題克服が重要なテーマ



01　テーマ設定理由

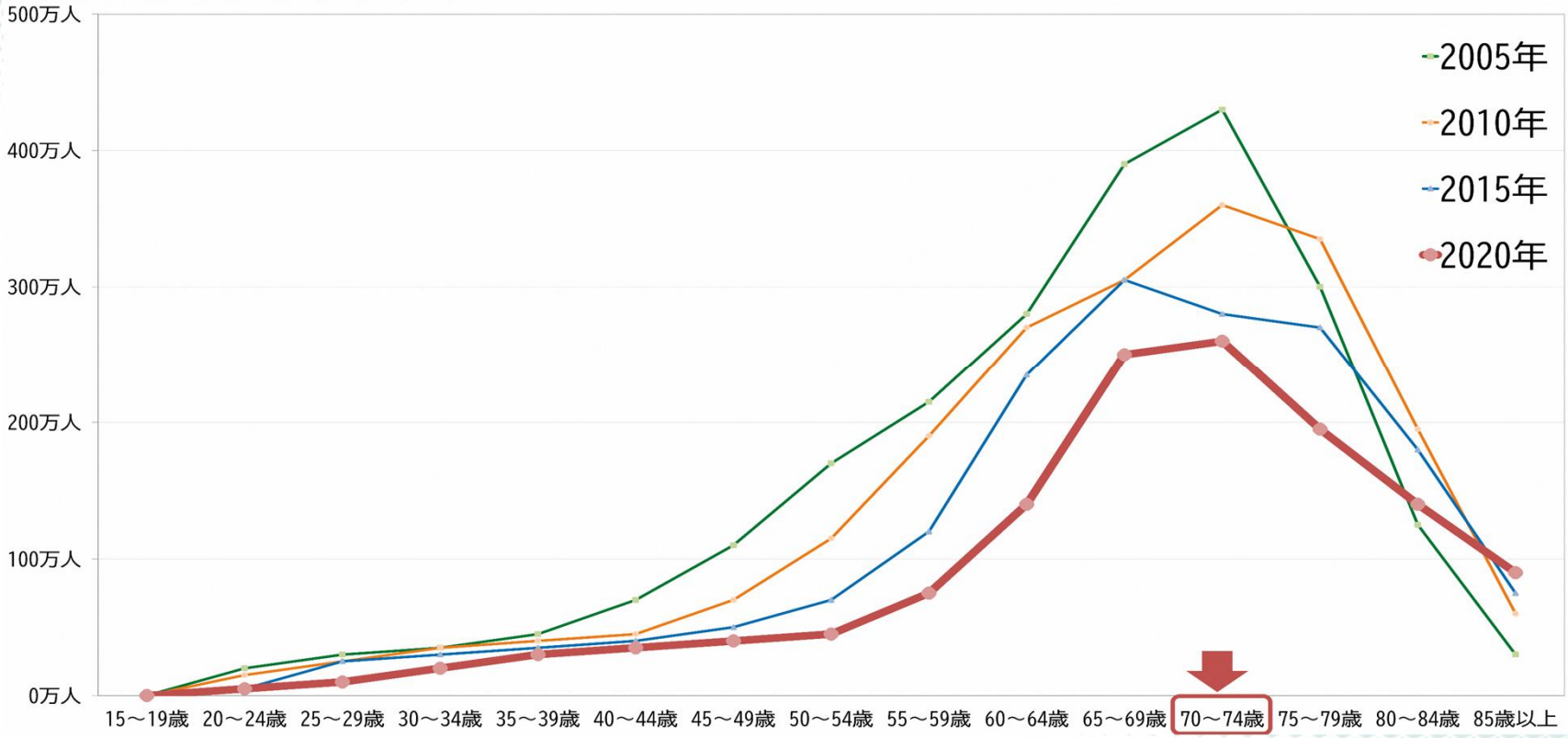
イメージ図



持続的に担い手を確保する取り組みを研究する。

02　全国の現状

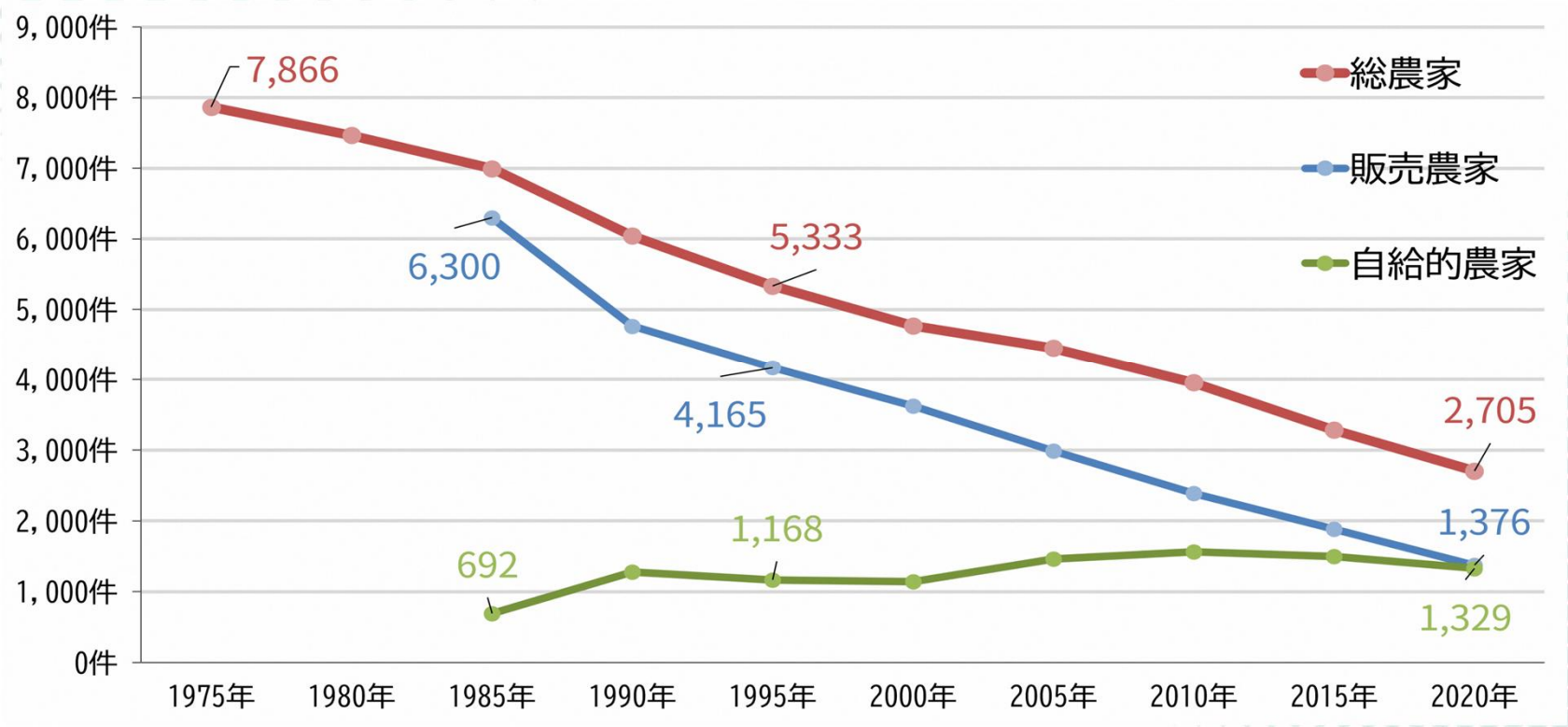
農業従事者の高齢化…　７０～７４歳が最多



資料：農林業センサス

02　掛川市の現状

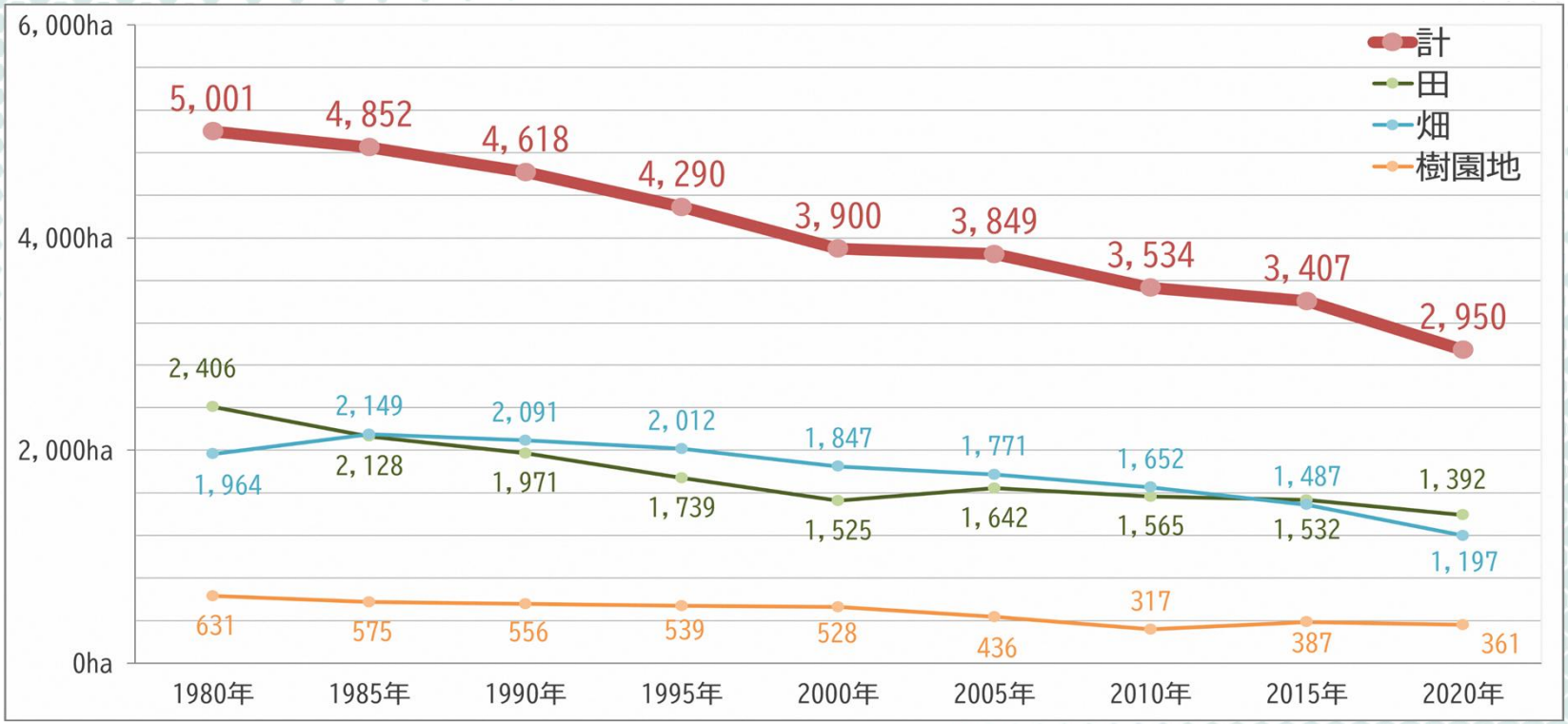
総農家数の減少…　近年３０年間で約半分に



資料：農林業センサス

02　掛川市の現状

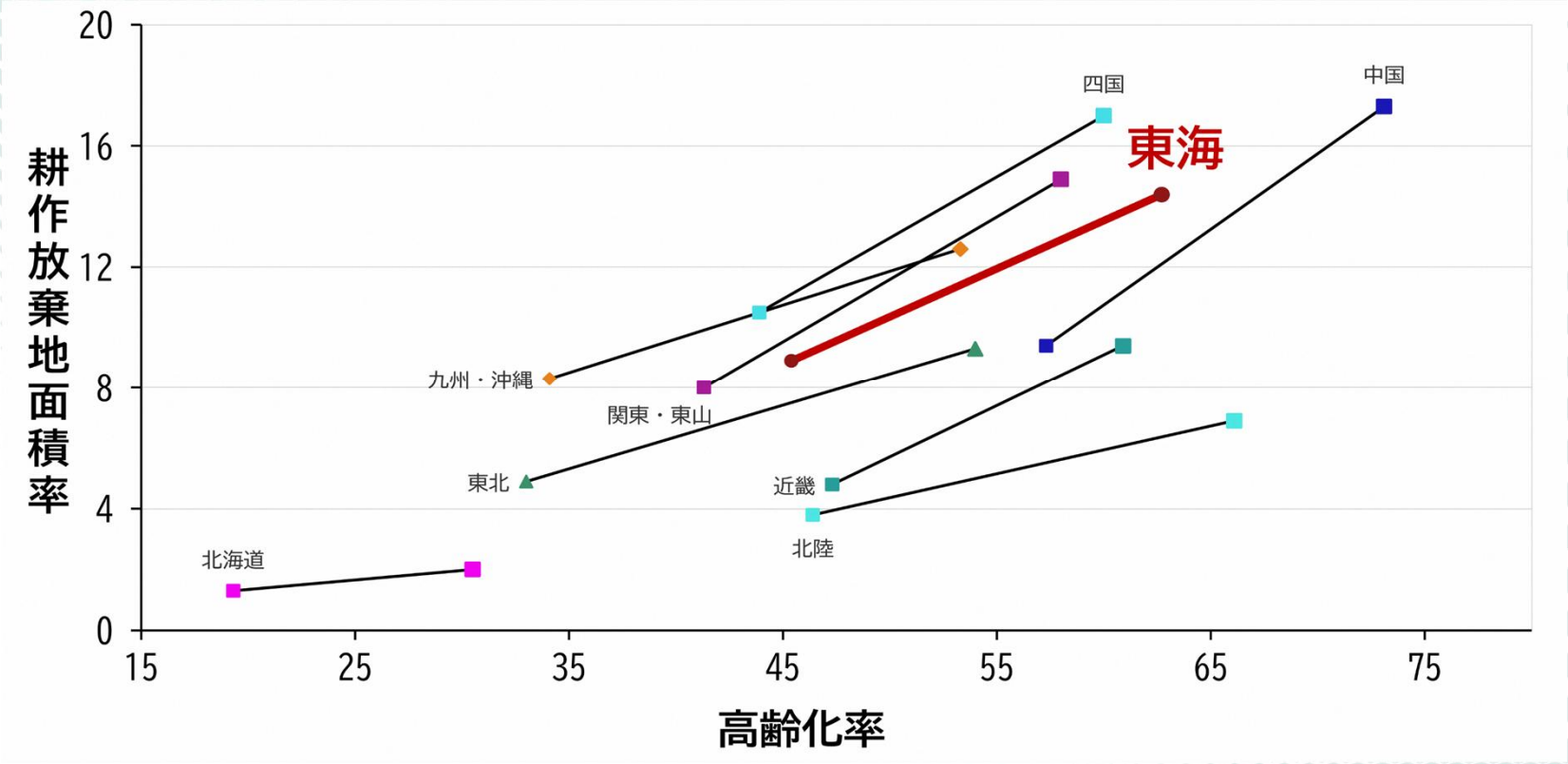
耕作地面積は縮小の一途



資料：農林業センサス

02　掛川市の現状

高齢化が進むほど、耕作放棄地面積率が増加



資料：農林業センサス

なぜ農業従事者が増えないのか

〇他の職種に比べ、収入が安定していない

〇気象条件や自然災害等に影響を受けやすい

〇作物によっては、初期投資が高額

〇体力的に重労働、土まみれのイメージ　など





特に**若年層から選ばれない**ことによる担い手不足は深刻

03　現状から見えた課題

耕作放棄地が増加すると

〇耕作農地の減少

〇害獣・害虫被害の拡大

〇景観の悪化

〇地域の過疎化　など



多方面で**荒廃する地域問題**が生じる

03　現状から見えた課題

農業従事者が減少

耕作放棄地が増加

農業を守る　＋　地域を守る

早急に改善策が必要！

04　現行の支援制度（国、県）

がんばる新農業人支援事業

○新規就農者確保緊急円滑化対策（国）
経営資源の有効利用に向けた取り組み

○新規就農者チャレンジ事業（国）
農業用機械・施設の改良又は取得

○新規就農者育成　経営発展支援事業（県）
認定新規就農者が経営開始時に経営発展のため機械・施設等の導入

○新規就農者育成　就農準備資金（県）
県が認める研修機関で研修を受ける就農希望者に交付

現行の支援制度は全て、**専業農業者向け**の支援制度である

04　現行の支援制度（掛川市）

掛川市農業振興ビジョン

○リーディングプロジェクトⅠ

地域の担い手を創出し継続的な営農活動を支援する事業

○リーディングプロジェクトⅡ

新規作物の産地化を推進する事業

ビジョンの下、支援計画は立てられている！

認定農家として国・県の支援制度につなぐ努力

04　現行の支援制度

新規就農者 ＜ 離農者

現行の新規就農者支援制度も必要だが、**離農者のスピード**に追い付かない
財政上、国や県の下支えも望むが新たな制度の構築を**待っていられない**

掛川市独自の支援制度を考える必要が
あるのではないか！

05　意見交換「かけがわ西の市」

〇西の市への出荷者状況

〇農作物の販売環境

〇品質基準・品質管理

など、生産出荷者にとって必要な**販路直売所の心得**

〃　　**購入者の生の声**



社長曰く・・・

・**土の中にお金**が隠れている。上手な人はそれを取り出している
・新規就農者を増やすためには、支援が大切。
ヨーロッパなどは**農業収入と同等の補助**があり、暮らしが成り立っている。**小さい農家**を**国をあげて大切**にしている。

05　意見交換「JA掛川市」

〇半農半Ｘ＊の事例や先端的な取り組み

〇直売所『さすが市』における兼業・副業農業者の出荷状況

〇農地中間管理機構（農地バンク）の現状



農業現場の安定経営の困難さや
実情を聞き取る

＊半農半X…ライフスタイルとしての積極的な兼業

05　先進地事例「長野県東御市」



〇平成11年から農業農村支援センター存在

行政・JA・県・大学・先進農家が
一体となる官民学連携中核組織

〇里親制度、就農トレーニングセンター

研修から独立までを支える仕組み
安価な家賃の生活支援宿舎

〇農地や農具のマッチング

圃場、農機具、経営資源の受け渡しをスムーズにしている

〇離農者の少ない担い手育成

特産品であるブドウの品質維持へ後継者の育成サイクル
就農経営体90体の内、離農経営体はわずか６体のみ

05　先進地事例「埼玉県宮代町」

○平成13年から「新しい村」という第三セクター方式で就農育成サイクルの構築

農業を再生させるため、まち全体で支援
直売所での販売支援を充実させ、地産地消や給食納入など出口まで支援
地域就農者と連携し経営基盤強化と営農指導

○担い手塾制度

宮代で農業をやりたいの人材を育てる

○熱意のある行政姿勢

農あるまちづくりを基本理念に情熱をそそぐ

農でつながるコミュニティエリア



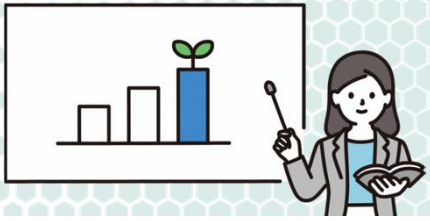
05　先進地事例　～まとめ～

２つの先進地事例から見えてくるもの

- ✓ 熱意ある行政施策
- ✓ まち全体のつながり
- ✓ 新規就農者の就農に対する安心感
- ✓ 安定経営までの育成サイクル

長期的な視点をもつ

司令塔的組織



基本的な考え方



○専業農家支援だけでなく、課題解決に向けた**投資**

○**非農家**・**農業未経験者**・**何歳**からでも就農できる仕組み

○**兼業**・**副業**農家も**多様な担い手**として位置づける

○**就農初期から一定期間**安心して取り組める環境

多様な担い手確保の循環づくり

06　提言に向けて

○掛川版『担い手塾』の設置

研修・技術指導・圃場・販売支援を
パッケージにして教育

○農地確保とマッチング

離農や相続等で農地を手放したい方と
新規に必要な方のスムースな橋渡し
耕作適地が必要な時に安心して相談できる窓口



施策を束ねる司令塔的組織

≒

官民連携した新規就農者支援協議会の設置

06　提言に向けて

他にも‥

○市独自の里親制度の確立

技術・知識の伝承するために共働する重要性と里親側への手厚い支援

○耕作放棄地開拓支援の増設

認定農家だけではなく、多様な農家でも耕作した人に支援

○販売支援

直売所との連携により就農初期期間の配慮

○空き家の生活支援活用

空き家の活用と安価な生活支援をセット

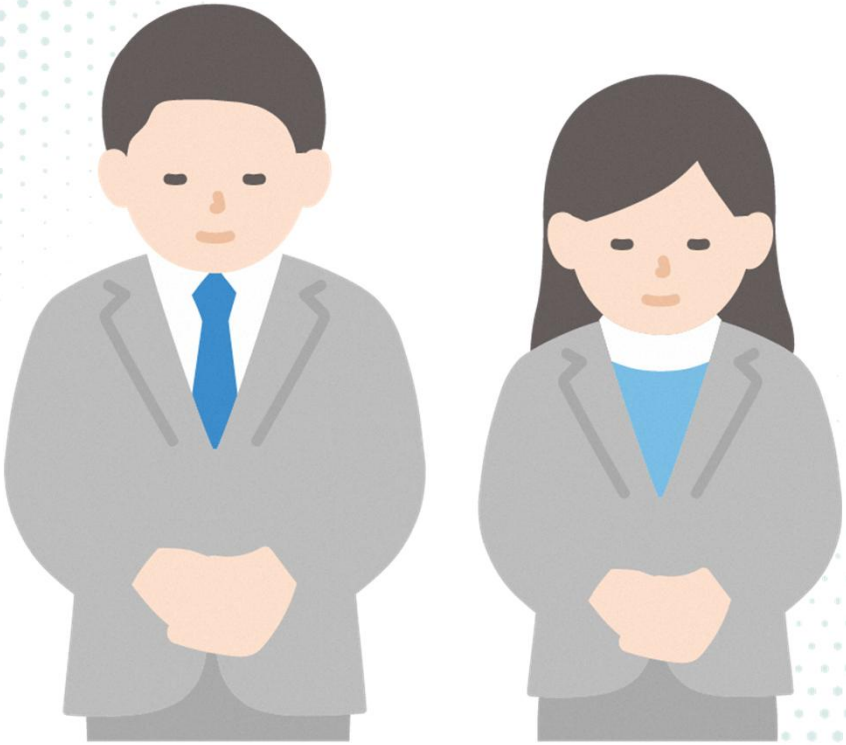
○農林課版技術職の採用

職員採用において、農業に精通した人材の確保



これらには**掛川市独自**の**農業への投資**が必要

ご清聴ありがとうございました。



いただいたご意見を、今後の提言に生かします。